

【資料 6】

広報活動関係



地域の川を守りつなぐために 環境調査を始めました

吉敷自治会は、令和2年度、コミュニティ活動の一環として、環境保全促進助成事業補助金（100万円）を活用し、錦川、前田川、木崎川の水質検査を実施、その結果を検討します。

将来の自然豊かな吉敷の環境づくりを目的に、河川美化と美しい景観づくりに関する提案を行うためのソフト事業です。この取り組みにより、吉敷のホタルを育み、子ども達が、川遊びや河川学習などを通じて美しい自然を身近に感じることで、自然環境の保全に対する意識の高揚にも繋がる事を期待しています。

吉敷河川環境保全促進プロジェクト始動
本事業を円滑に進めるため、吉敷自治会及び前田川・錦川・木崎川の隣接地区の町内会・自治会と専門家による委員会を設置しました。委員は8名で専門家として田村環境コンサルタントオフィス代表に参画していただいています。

この中で、本事業の目的や進め方について意見を交わし、今後のスケジュールを確認しました。
去る5月21日には、3河川の水質調査を、5月29日には、現地踏査を実施し、吉敷河川環境保全促進プロジェクトの第1歩を踏み出しました。

水質調査と現地踏査 現状から見てくるもの

水質調査では、3河川の水質が基準に比べ良い状態なのか悪い状態なのかを把握し、それぞれの状態に応じて、水質浄化に向けた取り組みの検討を進めます。また、現地踏査では、河川の流れや泥などの堆積状況、ゴミなど不法投棄の状況などを確認することで、河川の現状を知るとともに課題などの洗い出しを行います。

今後、こうした取り組みを進めるとともに、講習会の実施や先進地の視察も予定しています。本事業における取り組みの成果については、令和2年度末に山口県環境政策課へ提出します。

「吉敷河川環境保全促進プロジェクト」委員名簿

役職	地区	氏名	備考
委員長	下東	内田 秀高	美化・養豚担当リーダー 下東町内会長
専門家	大野	田村 明	田村環境コンサルタント オフィス代表
委員	上東	岩崎 聡司	講習会・研修会、広報担当 リーダー
委員	本結	内田 信行	水質・衛生担当リーダー 本結町内会長
委員	佐田	今井 宗二	佐田自治会推薦委員
委員	中村	岡本 幸華	中村町内会推薦委員 吉敷自治会会長 中村町内会長
委員	京面団地	権方 健一	京面団地推薦委員
委員	大橋	明三 芳	大橋町推薦委員

地域のチカラ

やまぐち路傍塾

「やまぐち路傍塾」は、平成23年度に市が立ち上げた学校教育・生涯学習支援ボランティアの仕組みです。優れた知識や技能をお持ちの方や団体に登録していただき、学校教育や社会教育・生涯学習の場でその力を発揮していただくことを目的としています。吉敷地域では32名、11団体が登録し、知識・技能を生かして活躍されています。

吉敷地域での活動

良城小協育ネットコーディネーターである平田要典さんは、学校と地域の橋渡し役として連絡調整を行われています。良城小では、平田さんが中心となって指導者を集め、昔の生活体験（七輪でのおもち焼き）や図画工作の支援（電動糸のこの使い方指導）などの活動が行われています。

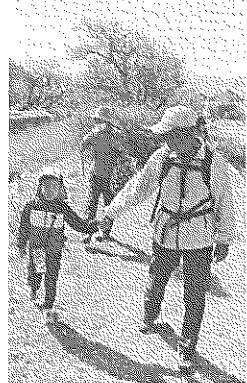


良城小での電動糸のこの指導

ボランティアを通して 元気をもらおう

平田さんは、良城小協育ネットコーディネーターの傍ら、路傍塾の登録者としても活動されています。定年退職後の再スタートとして始められたボランティアですが、地域の先輩方の経験や知識、協力が大きな力となり、様々な活動を続けてこられたそうです。「初めの頃は学校を支援するボランティアでしたが、今では逆に、子ども達から元気をもらいながらの楽しい活動です。年を重ねて来ると、つい自分が好きなことを中心とした生活に偏りがちになりますが、少しは社会（地域の子どもたち）の役に立って楽しんで生きていければと思うこの頃です。」と平田さん。

「新型コロナウイルス関係で社会生活の見直しも必要になっていますが、地域の子どもを育てるには、子ども、親、学校の先生、地域の大人の協力が大切なことは変わりません。一緒に路傍塾で活動をしていく人達が増えればと思います。」と話されました。



交流センター講座でも活躍



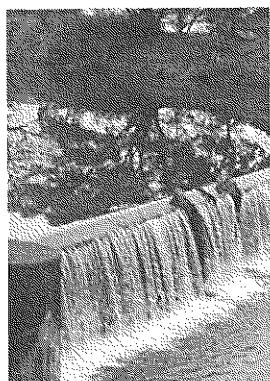
下湯田堰の開放を行いました

11月3日(火・祝)、吉敷自治会河川浄化委員会の活動の一環として、大歳地区の水利組合の協力を得て、前田川、錦川と吉敷川の合流地点に設置されている下湯田堰を開放しました。

堰の開放に期待するもの

堰とは、河川等をせき止めて上流側の水位を上げることによって、水を貯留したり、用水路などへの取水を容易にしたり、計画的な分流を行ったりする役割を持ちますが、その一方で、堰の上流では、川の流れが滞るなどの影響が考えられます。

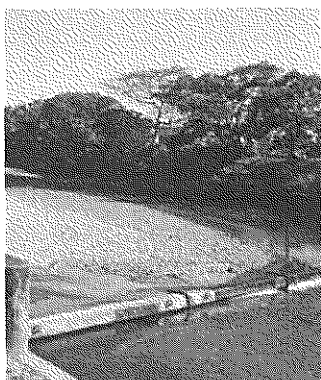
河川浄化委員会での協議においても、特に前田川、錦川については、淀みによる水の濁りや葦や藻の繁殖が目立つなどの意見が多く出される中、ひとつの解決策として堰の開放に至りました。川の流れを生むことで、河川環境に良い効果が見込まれると期待しています。



下湯田堰(開放前)

水位が下がり見えたもの

堰の開放後、水位が下がり、土砂などの堆積物、葦や藻の繁殖状況など、川底の様子が明らかになりました。こうした堆積物などは、大雨降水時水位が上がる要因となるなど様々な影響を及ぼすと考えられます。



下湯田堰(開放後)

今後、下湯田堰の開放前後の写真を比較し、それぞれの河川の水量や川底の堆積物の状況、動植物等の変化を観察していきます。

その他にも問題点を整理し、河川管理者である県や市と連携し、河川浄化への取り組みを進めていくこととしていきます。

【問い合わせ】吉敷自治会事務局
☎083-1922-1334

吉敷の福祉・健康

WELFARE AND HEALTH

吉敷高齢者生きがいセンター「げんきやかた」で活動する「健康麻雀ロンロンサロン」をご紹介します。

「健康麻雀ロンロンサロン」

平成29年10月に男性8名、女性8名で立ち上げました。現在のメンバーは24名。

健康麻雀で脳トレ♪

活動日は第2、4金曜日。第2金曜日は初心者の方にベテランメンバーが教えながらゲームを進め、第4金曜日は経験者と初心者の混成でゲームを楽しんでいます。

新型コロナウイルスの関係でしばらくお休みしていましたが10月から再開しました。



女性メンバーのほとんどは、牌(ばい)を初めて見る、触る方々が多く、良い脳トレーニングになっています。麻雀を楽しむ13時～17時はあっという間です。

年に1度の大会で腕前披露★

「ボン、チー、ロン!」と元気な声がどのテーブルからも聞こえて和気あいあいのメンバーですが、年に1度の大会の日は日頃の腕を競い合い、1位～5位、ブービー賞を決定。

みんなで賑やかに楽しく活動しています。
ご興味のある方はぜひ一緒に活動しませんか。

【代表者】小野 光恵
【問い合わせ】☎083-924-5692(小野宅)
【開催日】毎月第2、第4金曜日 13:00～17:00
【場所】吉敷高齢者生きがいセンター
「げんきやかた」



自助と共助で地域の川の環境を 守りつなぐために

吉敷自治会では、令和2年度のコミュニティ活動の一環として、一般財団法人自治総合センターの環境保全促進助成事業補助金(100万円)を活用し、身近にある錦川、前田川、木崎川の美化・美観や衛生の向上のため活動を重ねました。

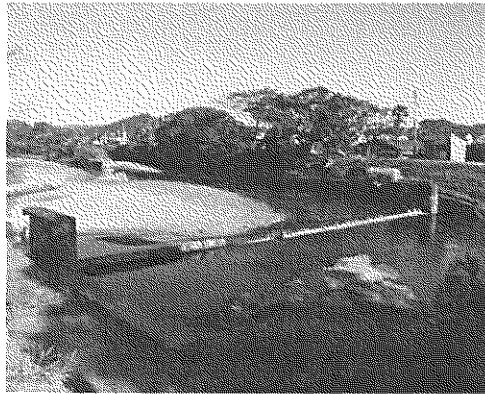
様々な活動目標を掲げました

本活動を円滑に進めるため、地元住民や環境調査の専門家により構成した「河川浄化委員会」を設置し、「美化・美観」、「衛生」、「広報」3つの活動目標を設定しました。

こうした中、現地踏査、水質調査とその結果の検証、行政への橋渡し役である市議会議員、県議会議員との懇談会や、山口県主催の「やまぐち県政出前トーク」を活用した講習会を開催しました。

また、先進地域への視察研修、次年度からゴミ清掃の日を設けることや、下湯田堰の開放について検討しました。

下湯田堰の開放では、大蔵地区の水利組合から協力をいただくなど、多くの目標を掲げながら、叶わなかったこともありました。河川浄化委員会の全員で審議することにより、それぞれ立案したスケジュールを消化することが出来ました。



開放後の下湯田堰

水質調査の結果 水質は思いのほかきれいでした

まずは専門家と同行し、現地踏査を行い、各河川の現状を理解し、課題などを洗い出しました。水質は、どうなんだろうかと初歩的な疑問がわきましたが、水質は良好であることから、次のステップに進みました。

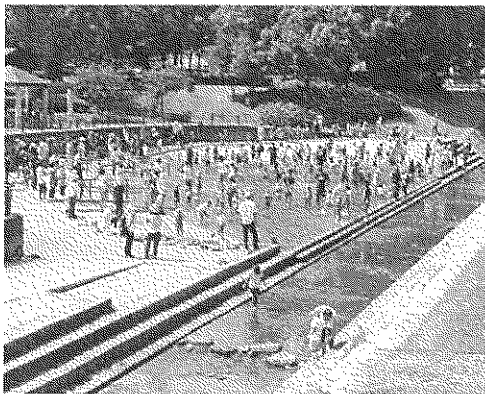
その後、河川浄化委員会の協議において、前田川、錦川については、淀みによる水の濁りや葦や藻の繁殖に加えて、空き缶やゴミが目立つなどの意見が多く出される中、河川環境に良い効果が期待される一つの改善策として、下湯田堰の開放に繋がりました。

自助と共助による取り組みが必要です

重要なことは、吉敷地域に住んでいる住民1人ひとりが、ふるさとの川を守り、次世代につなげていくための役割を理解するとともに、日常生活のなかで、四季折々の変化や風景の美しさに気づき、川に親しむ機会をつくることです。

まずは、ごみのポイ捨てをしないなど、基本的なマナーを守り、河川愛護の意識を高める「自助」の考え方が必要です。

これに加え、地域の一斉清掃、ゴミ清掃の日の設定など環境美化への取り組みやホタルの放流や水生植物の保護など自然を生かしたビオトープの取り組み、災害危険箇所の把握や防災意識を高める取り組みなどといった、地域ぐるみによる「共助」の取り組みが今まさに求められます。



木崎川 いこいの水広場

河川浄化のため提言書を作成しました

河川浄化委員会では、本活動を通じて得た成果を風化させないために、提言書を作成しました。

提言書では、「公助」としての立場である行政機関への提言も盛り込んでいます。

この提言書が、皆さんの地域の自然環境の保全に対する意識の高揚につながる一助となれば幸いです。

「県・市への提言※一部抜粋」

●良好な水質を生かし、木崎川が流れる維新公園内の「いこいの水広場」、「せせらぎ護岸」、「徒渉池」、「三段池」、「ポート池」をリニューアルし親水公園として再活用などビオトープに配慮した取り組みを提言します

●河川内、両岸堤防護岸に土砂の堆積、雑草、樹木、藻が多数繁殖し、流路の妨げとなっているため定期的な堆積土砂、繁茂草の除去、樹木の伐採による防災対策、環境整備を提言します

提言書は、吉敷地域交流センター内吉敷自治会事務局に設置するとともに、吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト内「自治会」のページで4月からご覧いただけます。